

1	表題(課題)名	電線共同溝管路の二次製品化
2	工事(業務)名	新発田拡幅小舟町・城北町電線共同溝その2工事
3	受注者名	株式会社 加賀田組新潟支店
4	工期	令和6年3月26日～令和7年3月26日
5	担当技術者(立場)名	現場代理人 (たなべ まどか) 田辺 団
6	担当主任監督(調査)員	新潟・建設専門官
7	課題区分名	⑤施工管理 ()
8	工事(業務)概要	城北町交差点における電線共同溝の浅埋管路を施工をした。

9 【施工における 課題・問題点 等】

本工事は国道7号の拡幅に伴う電線共同溝工事である。新設歩道部分に管路を敷設していくが県道横断設置箇所に横断ボックスが入っており、その間の管路は浅埋となるため防護対策として鋼管防護+コンクリート防護+敷鉄板の仕様となっている。県道は即日開放が条件であり施工手順、施工方法が課題となった。

10 【実 施 内 容】

当日のタイムスケジュール検討から5日を要する結果となったため、夜間で近隣・交通に与える影響を極力抑える事、また、コンクリート打設による打継ぎ目や敷鉄板の施工日毎の加工が必要となり品質の低下・コストアップが懸念された事から、縦6.4m×横2.2mの14本並列鋼管を事前に二次製品化する事で工期短縮・品質向上を目指した。



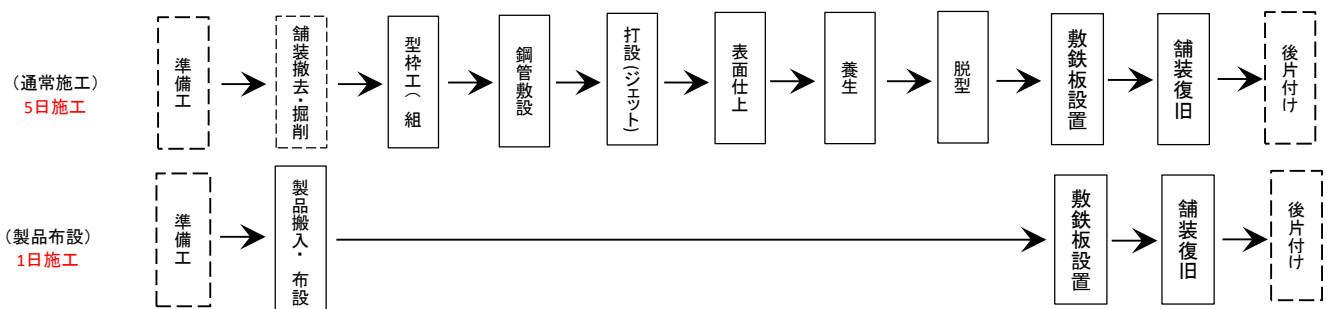
配管完了（打設前）



打設完了

11 【実 施 結 果】

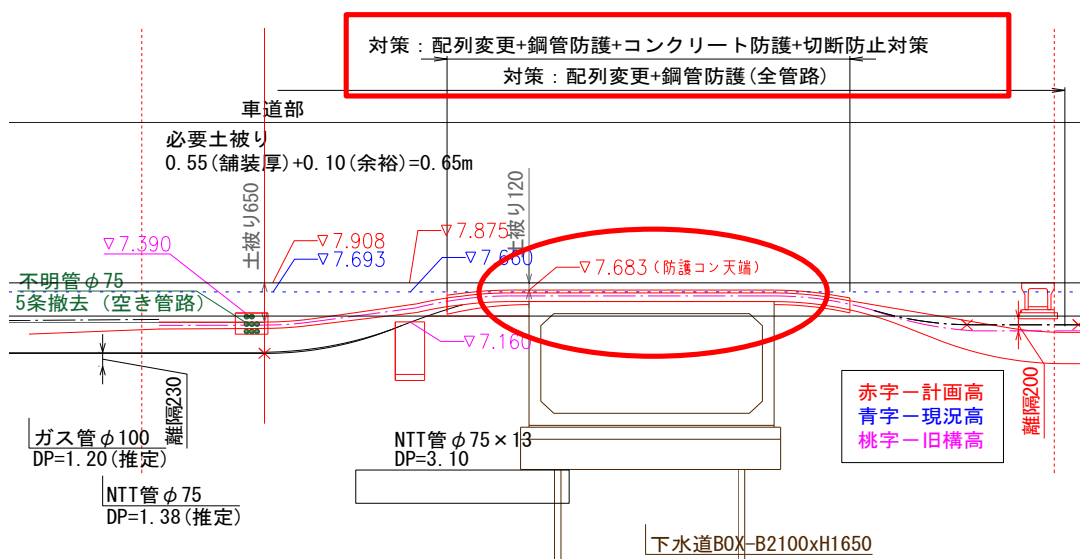
下記フローの通り工程短縮が4日となり、それに伴い施工費・人件費が大幅に削減出来た。また、二次製品化する事でコンクリート品質も向上もした。※ジョイント無し



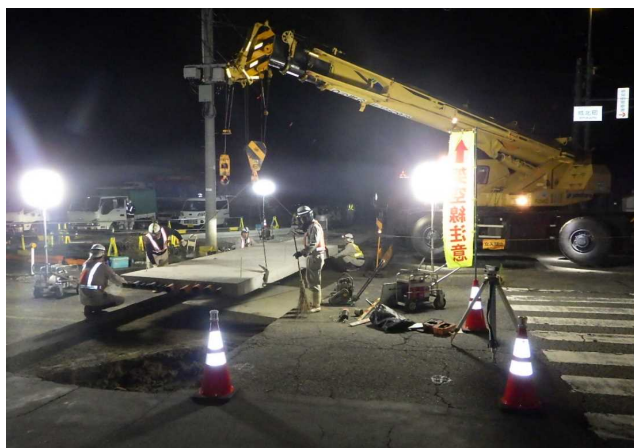
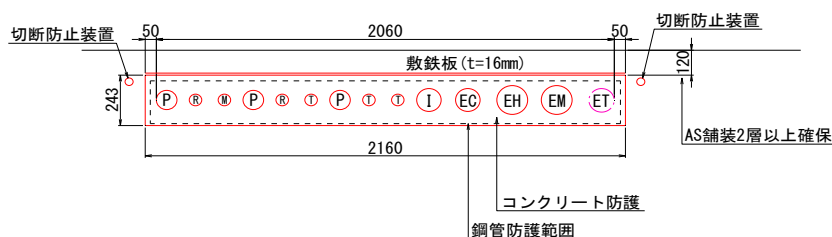
※県道規制期間の工期短縮

【実施内容等】

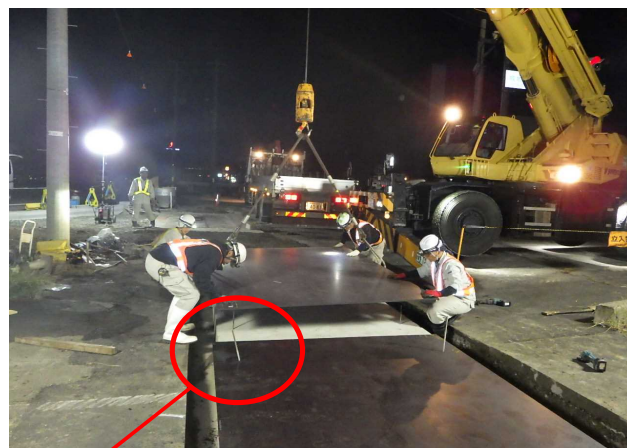
【横断ボックス箇所管路縦断面図】



【横断ボックス箇所断面図】



横断管路部布設状況
(25tラフター)



敷鉄板設置



敷鉄板振れ止めアンカー
※舗装復旧時のズレを防止